

いのちと時間

聖路加病院の日野原先生は100歳を超えた現在も、医療だけではなく色々な分野で現役で活動されています。素晴らしいことです。子供のための教育、小学生を対象に「いのちの授業」も開催されています。

先生は10歳位の子供たちに、「いのちってなんだと思う？」と問われるそうです。子供たちは必ず心臓に手をあてるそうです。先生は「それは違います、心臓はいのちではありません。単なるポンプです」と答えるそうです。「いのちは見えないもの」です。「いのちとは私たちが持っている時間のことなんです」と答えるそうです。

「人間は限られたいのち=時間を持った生き物なのです」
時間を無駄にすることはいのちを無駄にしていることと同じなのです。

あなたはお母さんから生まれてきて、現在まで幅広い人生経験をしてきました。

